

# 研究者を研究してみよう！ ～データベースの世界～

ゲノム機能解析学研究室 村田 成範



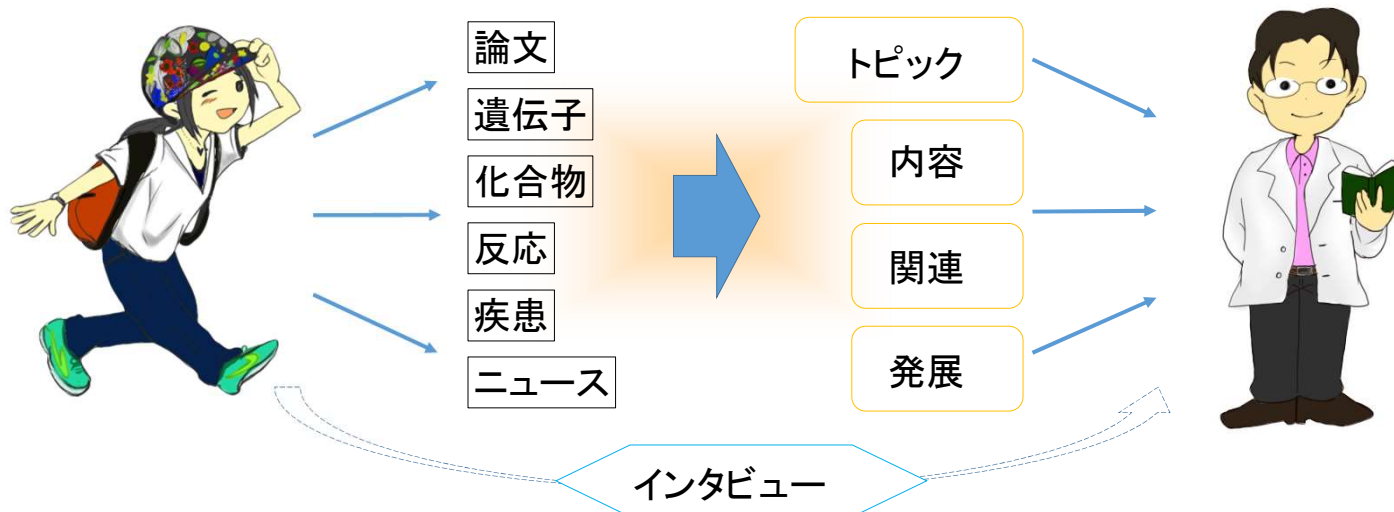
## データベースって何？

遺伝子を始めとする生命科学領域は、非常に多くの研究者が長い間実験を重ねて、少しずつ新しいことを発見し、それぞれの現象をつなぎ合わせて、次のステップへ進む・・・という繰り返りで発展してきました。

現在、私たちの身の回りに存在する「もの」や「こと」の中には、これらの研究の成果を技術として発展させて、日常を便利にしているものが多くあります。

「つなぎ合わせ」や「発展」を可能にするために、これまでの様々な実験・研究で得られた知見（データ）を蓄え、それぞれのデータ同士の関連性を解析できるようなアルゴリズムを作成し、更に関連性をも含んだ「データベース」を、それぞれの研究分野で構築して利用しています。

- データベースを実感するために、研究者を検索してみましょう。

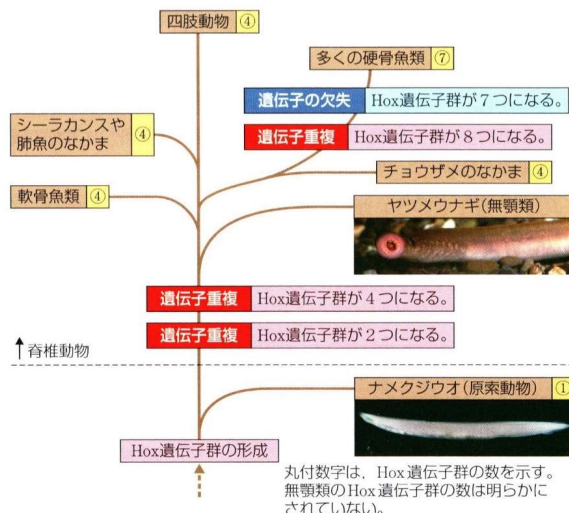


- ☑ 過去の実験データを探索する手技を学ぶ。
- ☑ データ同士をつなぎ合わせる方法を学び、考察力を養う。
- ☑ 健康生命薬科学科での研究とはどのようなものかを学び、自分自身の研究対象を選ぶときの参考にできる。

高校の生物学では、右の図のような、遺伝子と形態の進化についての探求があります。

- \* 一つの遺伝子が、どのように変化して来たのか。
- \* それらの遺伝子が、それぞれの種でどのような働きをしているのか。

別々の研究者が残したデータをもとに、遺伝子変異の歴史や発生過程にどう関与しているのかなど、新たな考察が可能になるのです。



私たちの研究グループでは、

- # 様々な事象の中から、普通の人健康に寄与できる方法論の研究
- # 遺伝子を始めた生命科学知識を、一般人が有効活用できるための教育活動を目的に、「遺伝子」分野の発展と次世代につなぐための教育・研究を目指して活動しています。